

平成30年度

## 全国学力・学習状況調査、篠山市学力・生活習慣状況調査より

篠山市立八上小学校

全国公立の中学校3年生及び小学校6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査（全国調査）、3年生・4年生・5年生・6年生を対象に実施された篠山市学力・生活習慣状況調査（市調査）の結果を分析しまとめました。

テストの結果だけで学力を測定することはできないことも事実ですが、この結果を授業や学校生活の工夫改善、家庭学習の充実につなげていきたいと考えております。

1年生・2年生については調査を行っておりませんが、学校全体の傾向や今後の課題等、明らかになったことについてお知らせさせていただきます。保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

### 1 教科に関する調査より

#### (1) 全国平均と比較した領域別考察

※考察につきましては、八上小学校全体の傾向を領域別に分析しています。各学年を分析したものではありませんので、ご承知おきください。

##### 【国語】

- ・領域別では全体的に「書くこと」について課題があることが明らかになりました。特に作文を書く問題には課題がありました。中でも問題のテーマに合わせて自分の意見や考えを書くことや、指定された字数数や段落などの条件に合わせて適切な分量で書くことについて課題があることが明らかになりました。

##### 【算数】

- ・全校的に全国平均とほぼ同程度で、良好な状況と言えます。
- ・領域別では□（四角）や（ ）を使った式について考える「数量関係」の領域や三角形や四角形など図形の特徴についての問題や作図に関する「図形」の領域の問題に課題があることが分かりました。それ以外の領域でも概ね平均と同程度であり、良好な状況と言えます。

##### 【理科】

- ・全校的に全国平均とほぼ同程度で、良好な状況と言えます。
- ・領域別では「生命・地球」の問題で課題があることが明らかになりました。特に「天気のようにすと気温」、「自然の中の水」の問題で課題があることが分かりました。

#### (2) 今後の取組について

##### ①対話を通して自己を見つめる授業

本校では1時間の授業の中でのめあてをはっきりさせ、児童が学習への意欲・関心をもって取り組む授業づくりを目指しています。また授業の中では、学習内容に応じてペア学習やグループ学習、全体学習の中で話し合いの場を多く設定するようにしています。対話を通して相手の立場や思いを感じ取りながら、自分の思いを言葉で伝え合うコミュニケーション能力を育成していきます。

##### ②「問い」を大切にされた授業

児童から生まれる「不思議だな」「なぜそうなるのだろう」という問いを大切にされた授業を行います。知的好奇心が高まることで、児童が主体的に考え、学びに向かうという学びのプロセスが確立します。問いを見つける手立てとして、体験活動や日常生活の中から生まれる問いに着目し、学習へとつなげていくようにします。

##### ③「書くこと」を中心とした自己表現活動の充実

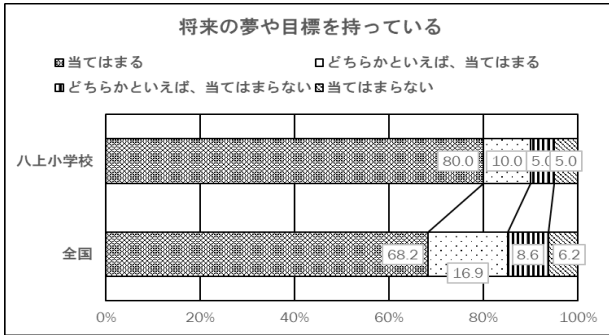
どの教科においても基本的な自己表現活動の一つとして「書くこと」が挙げられます。書く機会を増やしていくと共に、文章の中から必要な事柄を見つける活動や書いた文章を互いに読み合ったり、校正し合ったりすることで、文章を書く力を向上させていくようにします。

また学校と家庭が協力しながら、家庭学習や自主学習における作文指導の充実をめざしていきます。

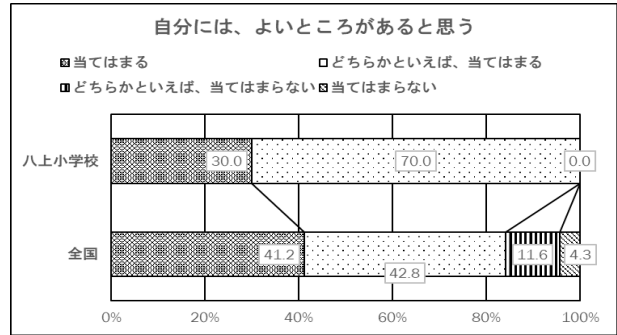
## 2 生活や学習状況に関する調査について（学校全体の調査結果より）

### （1）子どもたちの現状

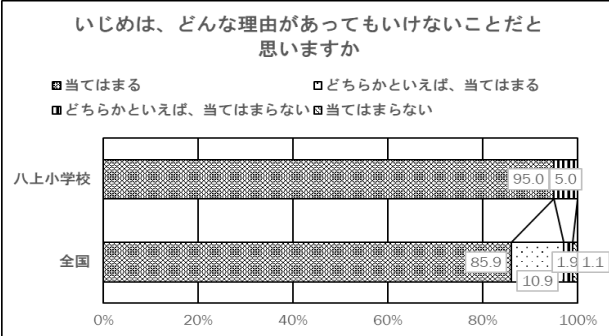
#### ① 将来に向かって努力できる力（ゆめ力）



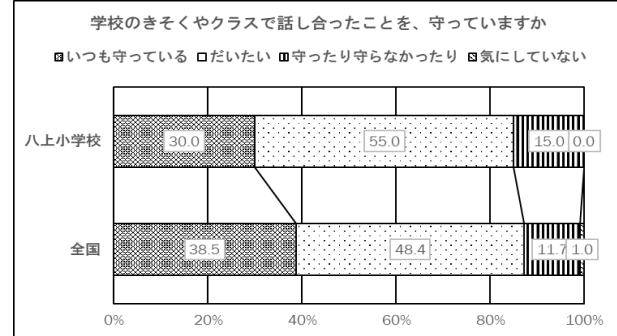
#### ②-1 自分を見つめ、コントロールできる力（自分力）



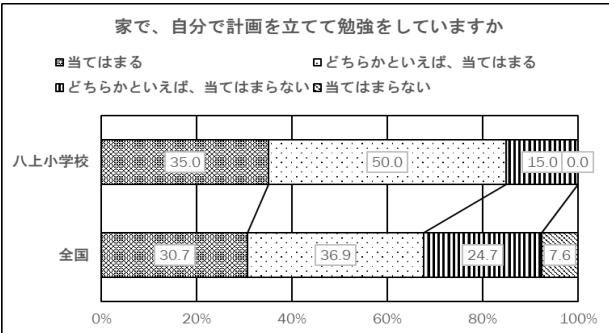
#### ②-2 自分を見つめ、コントロールできる力（自分力）



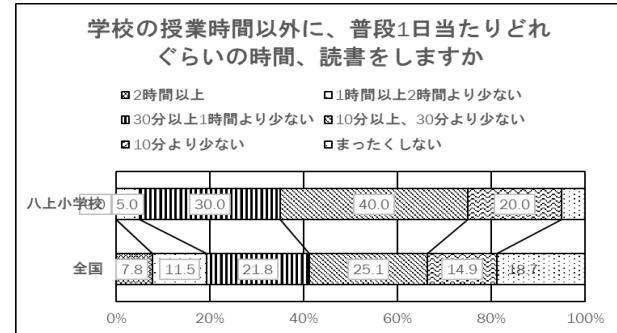
#### ③ 人間関係を築こうとする力（つながり力）



#### ④-1 学びに向かう力（学び力）



#### ④-2 学びに向かう力（学び力）



### （2）今後の取組

篠山市では子どもたちに育む学力を「一本の樹」ととらえて学習・生活の指導に取り組んでいます。「葉」は知識や技能です。「根」は学習習慣や意欲・関心・態度です。「葉」と「根」をつなぐ「幹・枝」は思考力・判断力や表現力です。さらに「樹が育つ土壌の栄養分」として、4つの「力」を育むことが大切であると考えています。

- ① 「将来に向かって努力できる力（ゆめ力）」
- ② 「自分を見つめ、コントロールできる力（自分力）」
- ③ 「人間関係を築こうとする力（つながり力）」
- ④ 「学びに向かう力（学び力）」

「幹が育つ土壌の栄養分」は子どもたちの意識にかかわり、学力や生活習慣を豊かに培うための「力」として大切であると考えています。

上記の調査結果から、本校児童は①ゆめ力、②自分力、③つながり力について高いことが分かりました。④学び力については学習への意欲や工夫はできている一方で、本に親しみ知識や感性を広げることやや課題があることが分かりました。今後については、「夢や希望を持ち自立して学び続ける児童の育成」という学校教育目標のもと、自ら進んで調べ、考えたり、読書を通じて知識を広げたりする力を高めていけるよう、指導を行っていきます。

また家庭における基本的な生活習慣やふれあいは、子どもたちが学ぶ力を育み、子どもをよりよく成長させる大切な基盤となります。保護者の皆様には、子どもたちへの温かい励ましの言葉がけをお願い申し上げますとともに、学校へのご支援・ご協力もよろしくお願いいたします。



